

第1回 海洋プラスチックごみ対策の推進に関する関係府省会議 議事要旨

1 日時

平成31年2月26日（火）16:00～16:30

2 場所

環境省第1会議室（合同庁舎5号館22階）

3 議事要旨

冒頭、原田環境大臣から挨拶があり、海洋プラスチックごみによる地球規模での環境汚染が国際的にも懸念されており、本年6月のG20に向けて、我が国自身として、新たな汚染を生み出さない世界の実現を目指し、率先して具体的な対策を打ち出す必要があること、こうした我が国の姿勢を示すためのアクションプランをG20までに策定するので各府省の協力をお願いしたい旨、発言があった。（別紙参照）

（1）海洋プラスチックごみ対策の推進に関する関係府省会議の開催について

- ・ 内閣官房から、資料1に基づき、海洋プラスチックごみ対策の推進に関する関係府省会議（以下「関係府省会議」という。）の開催のための関係府省申合せ案の説明があり、本案が了承され、関係府省会議の開催が決定した。

（2）海洋プラスチックごみに関する状況について

- ・ 環境省から、資料2に基づき、海洋プラスチックごみに関する現状について説明があった。

（3）関係府省における主な取組について

- ・ 環境省、内閣府、外務省、農林水産省、経済産業省及び国土交通省から、資料3-1～7に基づき、海洋プラスチックごみに関する取組について説明があった。

（4）海洋プラスチックごみ対策アクションプラン（仮称）について

- ・ 内閣官房から、資料4に基づき、アクションプランは、本年6月に開催されるG20までに策定することを目指すこと、プラスチックを使った後に「新たな汚染を生み出さない」ことに焦点を当てて策定をしていくこと、資料4に記載の柱立てにより策定していくこと、具体的かつ実効的なアクションプランの策定のため積極的な協力をお願いする等の説明があった。

（以上）

原田環境大臣開会挨拶 概要

- プラスチックは、我々の生活に利便性をもたらしている有用な物質ですが、海洋に流出すると長期間にわたり環境中に留まることとなります。
- 現在、世界全体で数百万トンを超えるプラスチックごみが海洋に流出していると推計されており、地球規模での環境汚染による生態系、生活環境、漁業、観光等への影響が、国際的にも懸念されています。
- 安倍総理は、今国会の施政方針演説において、「新たな汚染を生み出さない世界の実現を目指し、世界の国々と共に、海洋プラスチックごみ対策に取り組む」旨述べられたところです。
- 我が国としては、議長国である今年のG20において、海洋プラスチックごみ対策に世界中挙げての努力が必要という共通認識を作るよう取り組んでいく必要があります。ここでも求められているのはイノベーションです。
- そのためには、我が国自身として、新たな汚染を生み出さない世界の実現を目指し、率先して具体的な対策を打ち出す必要があります。
- この関係府省会議では、こうした我が国の姿勢を示すための具体的、実効的なアクションプランを、今年のG20までに策定いただきたいと考えております。
- 各府省におかれましては、具体的、実効的なアクションプランの策定に向け、よろしく御協力のほど、お願いいたします。